

市長とランチミーティング⑧

石垣島マラソン 障がい者の参加しやすい大会に

第8回「市長とランチミーティング」は2月14日(月)に「沖縄伴走ネットワーク八重山支部・伴ネットやいま」の皆さんと行われました。そのミーティング内容を紹介します。

中山市長 申込みいただき、ありがとうございます。石垣市の福祉向上、障がい者の皆さんの地域参加において、そのサポートをもらえる皆さんのボランティアは本当に大切なことです。一緒に走るランナーとして、この大会に参加する楽しみを実感しています。今日は、石垣島マラソンについて意見交換ということですので、どうぞよろしく願います。

制限時間の延長は可能か？

増川事務局長 私達「伴ネットやいま」の会員は37名。うち、視覚障がい者は4名、聴覚障がい者は2名います。普段、水曜日と日曜日にウォーキングやランニングを楽しみながら一緒に活動しています。年間の目標は石垣島マラソンです。そのため、にスケジュールを組んで調整しています。県外のマラソン仲間



とも交流があり、北海道や群馬など視覚障がい者の方が来て、私達が伴走したりして交流しています。女性の視覚障がい者の方が、これまで10キロに出場していた。ハーフに挑戦するという

ことで1年間頑張ったトレニングし、挑戦しましたが、制限時間に5分足りなくてゴールできませんでした。次の年も練習に取り組んで挑戦したところ1分足りませんでした。関門をクリアして21キロを走り通したランナーにもう少し優しい大会であってほしいかと常々思っています。制限時間があと30分ぐらい長ければ、参加しようかどうか考えている人が増え、大会が広がるのではないだろうか。

中山市長 今はハーフが3時間。10キロが1時間半。この制限時間を延ばした場合の弊害はありますか。

崎山いきいき学び課長 一般道路を使用し、拘束時間が長いため、市民の皆さんに迷惑をかける延ばさないようなかたちで考えています。ハーフと10キロはシード線の長間橋からフルと3種目混ざります。10キロの最終ランナーがゴールした後、ハーフのトップランナーが入ってきます。10キロの完走した人の遅い方がハーフのトップ20人に289人が追い越されています。ハーフの遅い方がフルのトップ

ランナー13人に237人が追い越されています。片側規制のコースなので、そういう意味では危険になるということを考えています。白バイや競技審判車等も先導しますので、休止地点があると、いろいろと指摘もありますので、それを全面交通規制をかけられるかどうかですね。1キロ9分から10分で走ると現在の1時間半でゴールできますが、10キロの制限時間を2時間にしてしまうと歩くというかたちで走られますと、最初から歩く目的で参加されても困ります。

中山市長 ちよつと早歩きで10キロを完走できることになりそうですね。

崎山いきいき学び課長 1キロ9分で走るのがランニングになるのかなあと思っています。

増川事務局長 遅い人は頑張っても、このぐらいの時間でしか走れないという人も多くいて、でも見ていると楽しそうだから私も出てみたいという声をたくさん聞きます。ウォーキング大会になっても困るという話はわからないでもないですけど、遅い人達のほうが参加したいけど、参加していない人が多いと思うので、制限時間を延長するともっと増えるのではないかと思います。

中山市長 ちなみにハーフの希望の制限時間は。

増川事務局長 私達の希望は3時間半です。

崎山いきいき学び課長 制限時

市長とランチミーティング

間に合わせた走りに参加する人が増えてくるのが予想されます。人数が増えれば、追い越される人が増えてくるのは確かだと思います。

中山市長 フル、ハーフのトップランナーがゴールに近づいて来た時、前のランナーでコースが詰まっていた場合、レースにならないといった状況は避けたいですね。

崎山いきいき学び課長 トップのランナー達は記録を求めて来ているので、全面規制してトップランナーと遅いランナーを分けて行うのか、今後の検討事項だと思います。

中山市長 参加者を増やそうと思っているのですが、そうすると運営の仕方を考えないといけないですね。

崎山いきいき学び課長 市街地を全面規制するわけにはいかないので、長間橋から競技場までを警察とどうにか調整できれば可能かなあとありますが。

車椅子の部の新設は

支部員 車椅子クラスの創設をお願いしたいと思います。具体的には車椅子の競技者の方々と話し合っていただきたいと思いますが、もう一つ、大会申込書に障がいの有無とサポートの必要項目を設けていただけたらと思います。サポートには例えば、伴走者、手話通訳者等が必要か

どうかという案があればいいかと思います。

中山市長 フルマラソンだとスピードが速くなりタイムも早くなりますね。

崎山いきいき学び課長 これも交通規制やスタッフ・要員の確保で、どのようなサポートをするかになると思います。たぶん同時スタートにはできないし、速い人、遅い人がでてくると思うので、長時間の道路の制限をかけることと、要員の確保そして、レース中に気分を悪くした場合はどうするか、誰が搬送するかということがでてきます。

中山市長 いただいた資料にある大会が、どのように運営されているのかチェックしてもらえますか。

崎山いきいき学び課長 そうですね。宜野湾市で単独の車椅子ハーフマラソンがあります。

支部員 もし、実現した場合はゲストランナーとしてボストンマラソンで優勝した土田和歌子さんを招待していただきたいと思っています。

盲ろう参加者の伴走者は参加費免除を

増川事務局長 盲ろう者（視覚と聴覚に障がいがある方）の方が参加する場合、伴走者が2人必要になります。伴走する方と手話で状況を伝える方です。現在、伴走ランナーの参加費は免

除してもらいたい方がたくさんいます。一昨年、盲ろうの方が参加した際、伴走者の1人は参加料を払いました。伴走者は盲ろうの方のサポートとして走っているので免除していただきたいと思っています。

中山市長 分かりました。今までは何人ぐらいいましたか。

増川事務局長 盲ろうの方には1人でした。石垣島マラソンのパンフレットの中に伴走者に関して何か記載されていると、事務局に問い合わせをしなくても済むので、パンフレットに謳ってもらえるといいなと思います。

中山市長 伴走を希望する方が多い場合はどうしていますか。

増川事務局長 メンバーで足りない場合はメンバーの友達やランナーに呼びかけて、何ヶ月か前から伴走の練習をして対応しています。本土の大会には全盲の方が1人で参加することもあります。そういう方は観光も楽しんでいくので、来た場合は地元で対応していききたいなあと思っています。それで、メンバーも増やしていきたいと思っています。

崎山いきいき学び課長 申込書にサポートの必要の有無等の項目を載せることはできると思います。

第10回記念大会に

ゲストランナーを

増川事務局長 希望として、ゲストランナーに高橋尚子さんを

呼んでいただけないでしょうか。彼女に伴走して走ってみたいという夢があります。第10回大会にゲストランナーとしてどなたか出てもらいたいですね。

中山市長 第10回は記念大会ですからね。10キロ、ハーフ、フルに各1人ずつ誰か出てもらいたいと思いますね。

増川事務局長 いいですね。大きな話題になると思います。

崎山いきいき学び課長 第1回大会でランナーを招待しました。ところが速すぎて独走だったらしいです。ゲストランナーは速い人ではなく、皆さんと楽しく一緒に走れるような人がいいなと思います。

中山市長 来年、第10回は記念大会なので何か企画します。

今日はいろいろなご意見をいただきました。ありがとうございます。石垣島マラソンは、できるだけ多くの皆さんが楽しんで参加できる大会にしたいと思っています。いただいたご意見を参考に障がいをもっている方も参加できるように大会にしたいと思っています。運営の中で厳しいところもあるかもしれませんが、約1年の準備期間がありますので、できるだけご要望に添えるように庁内で調整し、警察署とも連携し、市民の皆さんの理解を得て、第10回の記念大会ができるようにしたいと思います。今日は貴重な時間をいただきました。ありがとうございます。